

馬券界の
リアル二刀流は
今年も健在!



鍋木正三(かぶらぎまさみ) ●62年生まれ。09年JRAオッズ・マスターズ・グランプリにて3位入賞。「単勝期待値理論」を武器に、主宰する「美浦ドリーム」では、有料、無料の2パターンで予想を配信しており、超大穴馬券をコンスタントに仕留めている。本業は薬剤師。

GI前に仕上がり万全 最強馬券師が魅せた!

北米のプロスポーツ史上最高額によるドジャース移籍で、ますます注目を集めるMLB大谷翔平選手。肘の怪我のため今年も打者に専念して二刀流はお休みだが、馬券界の二刀流・鍋木正三は今年も健在である。薬剤師として働く傍ら、馬券師としてもますます快調で、シーズン前の大谷選手よりひと足早く大ホームランを飛ばした。

舞台は2月4日の小倉12R。軸に推した10番人気の①メイショウコギクが3着に入線。相手拾った12番人気の②バラードインミラノが1着、5番人気の③マイレーヌが2着に入り、3連単116万4910円が炸裂したのだ。これで100万馬券は通算21本目! 本誌の知る限り、ミリオン弾の中王争いを独走中である。

3連単のほか、3連複16万4520円、ワイドの1万5710円、5220円をも仕留めており、払い戻し総額は135万360円という特大の一撃となった。常人には理解不能の一撃であり、当人の話を聞くほかに。早速ヒーローインタビューに耳を傾けよう。



「あまりご存知ないかもしれませんが、最終12Rはメインレースに次ぐ売り上げを誇るように、大きなお金が動きます。『最後くらいは当てて終わりたい』というファン心理が強く働くからでしょう。ただ、誰もか当たらないからこそ、票は人気馬に偏りやすく、そこが私にと

って格好の狙い目になります。特にロカルの短距離戦は順当に決まらないことが多いので、小倉芝1200mの最終はチャンスの打席でした」

これまで幾度となく説明してきたが、打席に入った鍋木は的中率より回収率を重視するスタンスだ。打率よりもホームラン、打点を稼ぐスタイルである。この姿勢を長きに渡って貫いているからこそ、チャンスボール、すなわち荒れるレースを嗅ぎ分ける嗅覚が誰よりも優れている。この日の小倉最終は、鍋木にとってまさに絶好球だった。

「単勝2.0倍と高い支持を得た⑧コスモグングニールは、危ない人気馬の典型でした。前走は『うまく内立ち回った2着に入ってしまった』というイメージで、決して内容の濃いレースではありませんでした。小倉は馬場が荒れてきて前走のような競馬は望めない状況でしたし、しかも断然人気となれば、当然の消しです」

人気馬はネガティブに、人気薄はポジティブに。これもスラッガー・鍋木が打席で心掛ける基本姿勢のひとつである。人気馬をぶった切る理由が見つかれば、舞台は整ったも同然。あとは波乱の主役となる馬を見定めるのみ。先述の通り、鍋木が狙いをつけたのは10番人気の①メイショウコギクだった。

100万馬券ハンター! 鍋木正三 美浦ドリームNEO

もはやGIシーズン前の風物詩と言っていこう。今年もあの男が万全の仕上がりでハイシーズンを迎える。何を隠そう、100万馬券の請負人こと、薬剤師馬券師鍋木正三である。2月4日の小倉最終で通算21本目のミリオン弾を放った稀代のスラッガーを本誌取材班が直撃した!

取材文 ● 坂井政広

写真 武田明彦

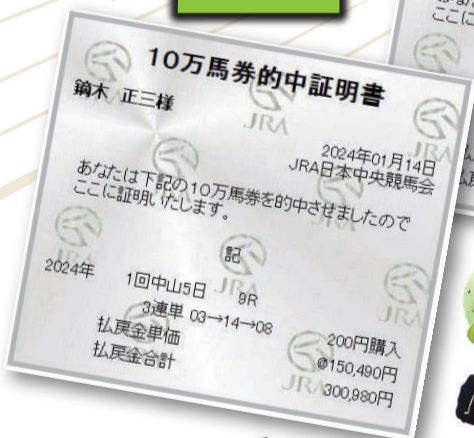
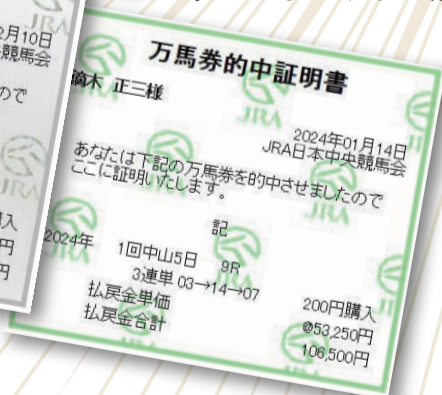
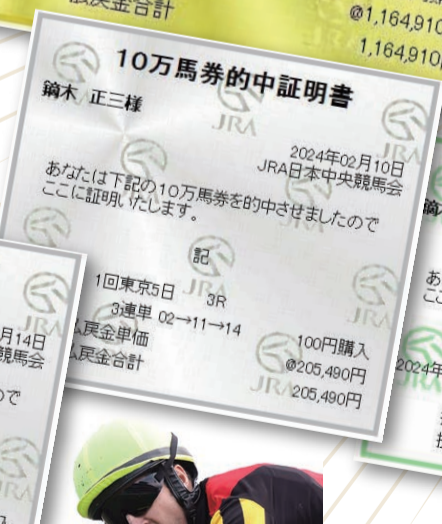
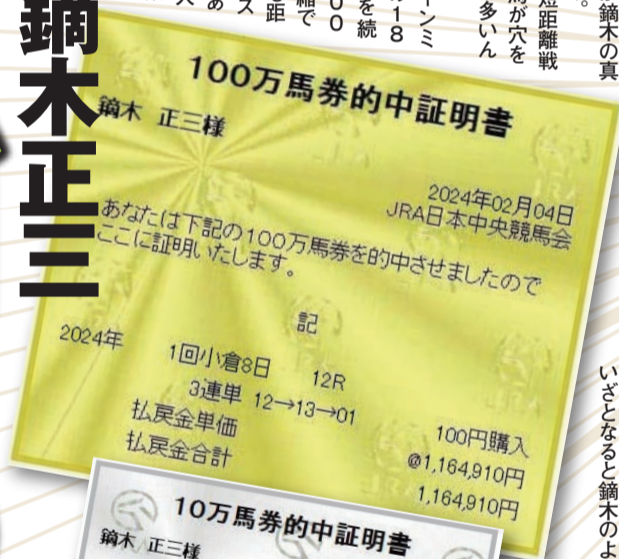
通算21本目の ミリオン弾が 炸裂!!

なっていましたからね。1キロとはいえ減量騎手の騎乗も大きかったです。⑬マイレーヌも、ずっとマイル以上を走ってきたが、今回は距離短縮で初の1200m。女性騎手の騎乗で4キロ減も魅力でした」

「いつも当てるわけではありませんが、短距離の下級戦は条件変更や減量騎手が穴になるケースが多いです。となると、3月のロカカル開催となる中京、そして続く福島、新潟でも同じ狙い方をしたいのだろうか。」

「おっしゃる通りです。特にこの時期は新人ジョッキもデビューします。最近の若手はデビュー時から腕のある子が多いですから、いきなり狙ってみるのもいいかもしれませんよ」

よし!! これじゃわれも夢の100万馬券へ一歩前進だ!!
……とは言え、である。いざとなると鍋木のような



GIシーズンに夢のミリオンを掴み獲る!

鍋木正三主宰 **【美浦ドリームNEO】**

<https://mihodream-neo.com/>

★有料会員と無料会員の2種類があり、無料会員でも鍋木氏の予想が見られる!

携帯・スマホの方は
こちらからアクセス!!

